

下水がどうやってきれいになるか見てみよう！ 下水処理場見学会

問 下水道課 Tel 06-6992-1751

内 ①下水道について知ろう

②下水がどうやってきれいになるのか実際に見てみよう

時 3月14日(土) 13:00～15:00(雨天中止)

場 下水終末処理場
(南寺方東通1丁目7番7号)
現地集合・現地解散

対 市内在住者(小学生以下は保護者の同伴必要)

定 先着20人程度

備 無料駐車場および駐輪場あり

申 2月9日(月) 9:00～
20日(金) 17:00
オンライン申請にて受け付け



開催しました ライフデザインセミナー

問 人権市民相談課 Tel 06-6992-1512

令和7年11月9日に中部エリアCCにて、若い世代に、地域のことや、市民団体の活動を知ってもらい、ライフデザインを考えるきっかけづくりを目的として、ライフデザインセミナーを開催しました。

大阪国際大学の学生9人が守口市民生委員児童委員協議会、守口地区保護司会、守口地区人権擁護委員会の3団体の活動内容を聞き取り、その内容をまとめ、発表しました。学生と市民団体の人で意見交換を行い、「それぞれの市民活動を深く知ることができてよかった」「若い人との交流で新しい発見ができた」といった声があり、有意義なセミナーとなりました。



離婚取り決めよう「養育費」「親子交流」 離婚前後家庭支援事業

問 子育て支援政策課 Tel 06-6992-1665

離婚を考えている人は、今、さまざまな思いを抱え、将来のことまで考えるのは難しい状況かもしれません。

しかし、まだ自立していない子どもがいる場合には、その子の将来のために、離婚した後の養育費や親子交流について考えることはとても大切なことです。離婚によって夫婦の関係はなくなりますが、離婚をしても、子どもにとっては、父母のどちらも親であることは変わりません。

子どもが自立できるまで健やかに成長していけるように、養育費や親子交流について話し合いをし、取り決めたことを文書に残しておきましょう。

養育費や親子交流についての支援があります。
詳しくはホームページを確認してください。



貸し出し 特殊詐欺対策機器

問 消費生活センター Tel 06-6998-3600

市では高齢者への特殊詐欺の防止を図るため、電話通話の自動録音機を貸与しています。市内でも多数の特殊詐欺事案が報告されています。ぜひ、活用してください。

対 市内在住の65歳以上(1人1台)

定 先着40人

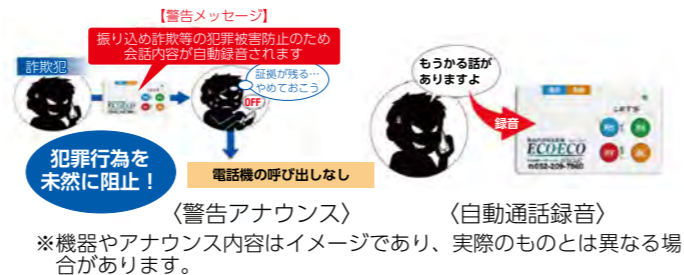
申 申請書…消費生活センターに設置、ホームページでダウンロード可。

▽貸し出し方法

住所・生年月日が確認できる本人確認証があればその場で配布可

特殊詐欺対策機器とは？

固定電話機に設置し、着信時「この電話は振り込め詐欺などの犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます」と警告アナウンスを発し、振り込め詐欺などを抑止し、通話内容を自動録音します。



0歳～高校3年生に2万円支給 物価高対応子育て応援手当

問 子育て支援政策課

Tel 06-6992-1665

今般、物価高の影響が長期化し、その影響がさまざまな人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する観点から、0歳から高校3年生までのこどもを養育する保護者に対し、こども1人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給します。

支給対象児童

平成19年4月2日～令和8年3月31日に生まれた児童

①令和7年9月分(令和7年9月に生まれた児童は10月分)の児童手当支給対象となる児童

②令和7年10月1日～令和8年3月31日に生まれた児童

支給対象者

児童手当支給対象児童を養育する父母など

支給方法

対象児童の児童手当受給者の登録口座、または申請書記載口座に振り込み

支給額

児童1人につき2万円(1回限り)

支給時期

ホームページを確認してください。

申請方法

原則、申請不要ですが、以下のいずれかに該当する人は申請が必要です。

▽令和8年1月1日以降に生まれた児童を養育する父母など
▽公務員(令和7年9月30日時点で守口市に住民登録がある人)

▽令和7年10月1日以降に離婚(調停中なども含む)により新たに児童手当受給者となった保護者
詳細はホームページを確認してください。



消費生活センターだより

「リチウムイオン電池」使用製品の 発火事故に注意してください

リチウムイオン電池は、身の回りのさまざまな製品で使われています。

リチウムイオン電池使用製品例

スマートフォン・モバイルバッテリー・ワイヤレスイヤホン・携帯用扇風機・充電式掃除機・電動アシスト自転車・ワイヤレススピーカー など

これらの製品は、充電して繰り返し使えるなど便利ですが、**取り扱いを誤ると発煙・発火事故につながる危険性があるので注意が必要です。**

事故防止ポイント

▼PSEマークが付いている製品を使用する

PSEマークは、電気用品安全法で規定された安全基準を満たしていることを示すマークです。

▼製造・販売元が確かな製品を購入する

国内で販売するリチウムイオン電池使用製品は、PSEマークの明示が義務付けられています。しかしネット通販で、PSEマークが付いていない製品が販売されているケースが見られます。値段だけで判断せず、購入前に製造・販売元、型式や仕様など製品の情報をよく確認し、不明確な製品の購入は控えましょう。



PSEマーク

▼持ち運びや保管に注意する

- ・強い衝撃や圧力を与えない。
- ・充電中の使用、就寝中の充電は避ける。
- ・高温になる場所に放置しない。
- ・接続する機器の仕様に合った充電器を使用する。
- ・公共交通機関では、各機関の持ち込みルールを守る。

充電できない、充電中に熱くなる、膨張、変形、異臭など、通常と違うことに気付いたらすぐに使用を中止しましょう。

▼最新のリコール情報をチェックする

リコール対象の製品による事故も発生しています。定期的に、事業者ホームページや消費者庁のリコール情報サイトでリコール対象になっていないか確認しましょう。

▼廃棄するときは、自治体のルールを守って処分する

メーカーや販売店でリサイクル回収をしている場合もあります。

問 消費生活センター相談専用電話
Tel 06-6998-3600(平日 9:00～16:30)
問 消費者ホットライン(土・日、祝日)
Tel 局番無し 188(土・日、祝日 10:00～16:00)

